

国際骨粗鬆症財団(IOF)より、骨粗しょう症治療の専門性の高い病院として認定されました

当院では、2022年より、多職種（医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション科、放射線技師、栄養士、社会福祉士、事務スタッフ）で連携し、骨粗しょう症の治療・啓発活動を行っております。

特に、骨粗しょう症により、転倒やしりもち等で大腿骨の骨折（足の付け根から膝までの太ももの骨の骨折）で来院した患者さんの**再骨折予防（二次骨折予防）**に力を入れております。

このたび、この活動が、国際骨粗鬆症財団（IOF：国際的な骨粗しょう症治療、予防・啓蒙活動に取り組む財団）が行う「脆弱性骨折の二次骨折予防の取り組みに対する認定制度」にて**【銀賞】**の評価を受けました。[世界60カ国、1083施設が認定を受けており、銀賞受賞施設は、国内では102施設、埼玉県内では銀賞は4施設となっております。（2024年12月現在）]

これからも骨粗しょう症治療において、地域の患者さんの骨の健診、健康寿命の延伸に貢献できるよう邁進してまいります。

IOF（International Osteoporosis Foundation）について

国際骨粗鬆症連盟(IOF)は、骨粗鬆症と骨折予防に関する国際的な啓発、研究、教育及び支援を行う非営利団体です。IOFは、骨粗鬆症に関する情報の提供、専門家の教育、研究プロジェクトの支援、世界中での啓発キャンペーンの実施など、多岐に亘る活動を通じて、骨の健康に関する認識を高め予防措置を推進しています。

<https://www.osteoporosis.foundation>